

目次

特集

“十三五”初年度、中国包装企業はいかに多様化する市場要求に対処するか？

1. 業界動向、統計数字

- (1) 6月積み段ボール古紙、日本発輸出価格1%高
- (2) 江西柯美紙業、低重量高強度段ボール紙20万トン設備を増設
- (3) 湖北盛大紙業、年産30万トン高強度段ボール原紙工場増設
- (4) 電商時代の化粧品段ボール包装
- (5) 江蘇省質監局、定量包装商品検査の合格率は70%以下
- (6) 宅配包装ゴミはなくなる

2. 政策・法規

- (1) 広東省、たばこ包装の警告表示を全面積の3割以上に
- (2) 「快通安全生産操作規範」6月1日より実施

3. 新製品、新材料

- (1) 雲南省の個人、3Dプリンターを自力で開発、販売へ

4. 環境・安全・リサイクル

- (1) 5月分紙巻たばこ包装箱返還率 94.37%

5. 物流

- (1) 新疆とドイツを結ぶ国際貨物列車の運行始まる
- (2) EMS、今年は全面的に生鮮食品の電商を推進
- (3) 香港電視ネットワーク、物流施設にロボット
- (4) 黒竜江省最大の対ロシア鉄道駅へロシアの広軌鉄道が直接乗り入れ
- (5) 「中欧列車」統一マークを使用
- (6) 「6・18」ネットバーゲンセールの前準備に大忙し

6. 中国プラスワン

- (1) プライムポリマー、シンガポールで食品包装用フィルム材料本格生産
- (2) ウェザーニューズ、ミャンマーで気象情報海運会社向け配信
- (3) フィリピンで佐川が個人向け宅配
- (4) 物流中堅、東南ア開拓 C&F ロジ、ベトナムで倉庫 3 倍
- (5) 日通・郵船ロジ、船便の冷蔵コンテナ共用 生鮮低コストでアジアに
- (6) ハンガリー・セルビア鉄道、中・東欧の経済発展をけん引
- (7) パナマ運河拡張、大型コンテナ船積載量 2 倍に

~~~~~

## 特集

### “十三五”初年度、中国包装企業はいかに多様化する市場要求に対処するか？

食品包装の重要性に対する認識は庶民の間で益々高くなってきている。市場の食品包装に対する要求は厳しくなり、それが包装産業の進歩を促している。今年は“新常态”下の第 13 次五カ年計画（“十三五”）の初年度、包装企業はいかなる戦術で多様化し要求が厳しくなる市場要求に対処しようとしているのであろうか？

商品包装印刷は、商品紹介、企業文化の宣伝、企業の個性と品位を体現するものである。また、たばこや酒類ではニセモノ防止の重要な役割を果たす。包装印刷業は包装という機能と企業文化の宣伝、販売促進という重要な機能を併せ持つ現代商業の重要な分野となりつつある。包装印刷業の 2016 年は飛躍の年となると予測される。その成長速度は全国 GDP 成長率より 2~3 ポイント高い 8%~10% が予想されている。それではどのような戦術をとるべきか？

#### 1) 政策の解釈を重視すべき

国家政策法規を遵守することが大切である。新政策中には企業を発展させる商機がある。“十三五”計画の中には中国印刷業を発展させる計画が明示されている。

- ①大型国有印刷企業に対する政策的支援。利益が下流へ流れる経路の制定。
- ②新技術、新工芸の採用に対する政策的支援。印刷産業と上・下流産業との資源配置の適正化を図り、印刷技術のレベルアップを促進する。
- ③印刷産業とインターネットの融合発展への政策的支援により産業高度化を推進する。

#### 2) “新常态”に対応する管理体制の構築

2015 年、少なからぬ包装印刷企業が逆境下にもかかわらず、比較的高い限界利益率や純利益を上げた。また、労働生産性や設備稼働率等の指標においても高位を示した。これらの企業を調査すると、優良な工場管理体制が取られていることがわかる。特に印刷インクの浪費を防ぐ細かい管理が行われている。細かい管理の積み重ねが大きな効果を生んでいる。



### 3) 工程改革は慎重に、従業員の練度向上が最重要

印刷産業は微利時代に突入し、生産ラインの科技含量の向上、人件費削減のための全自動機の導入、伝統的生産方式からシステム化されたラインへの転換が急務である。しかし、このような風潮の中で、2015年は顧客からの苦情が10%上昇した。苦情原因はいろいろあるが、品質問題が多く、これらは新導入設備に対する従業員の未熟練によることが多い。最新機械を導入すればすぐ業績が上がるというわけではない。それを使いこなす従業員の練度が重要だ。

### 4) 包装仕様は仕向け先の要求を十分考慮すること

環境保護包装設計は、包装保護機能を列挙するだけでなく、環境保護に対する心理的効果を加味する必要がある。特に輸出品に関しては、①目標とする市場国の環境保護要求を十分考慮すること ②包装意匠、図案、色彩において環境保護の息使いが感じられるようにすること ③包装材料の選択にあたっては、消費者の環保心理に働きかけるべく、軽薄、高性能紙類包装、竹包装、ガラス包装、分解型プラスチック包装を使いわけ

### 5) 世界各国と環境保護包装の法規で交流し、学ぼう

現在、先進国家では緑色（環保）包装に関する法律を整備し、緑色包装の推進・実施を保証している。また、各種の包装廃棄物を規制する法律を制定している。しかし、中国はこれら行政法規面では大きく立ち遅れている。近年、包装に関する政策が次々と打ち出されているが強制的法規は少ない。包装立法面で中国は先進諸国と交流・協力し、彼らの立法経験を学ぶ必要がある。また、彼らの包装法規についての最新の動きを注視し、中国の法制定に備えねばならない。

### 6) 緑色（環保）標示認証制度を推進させる

企業は環境管理体系を建立し、国内外の権威部門の認証を得ることが必須である。近年、世界30カ国以上が自国の環境標示制度をとっている。輸出商品には仕向け地毎の環境標示認証を取得する必要がある。言い換えれば認証を取得することが、その国・地域への入国ビザとなる。

## 1. 業界動向、統計数字

### (1) 6月積み段ボール古紙、日本発輸出価格1%高

製紙原料となる段ボール古紙の輸出価格が小幅ながら反発した。指標となる関東製紙原料直納商工組合（東京・台東）の6月積み輸出入札の平均落札価格は、前月積み比1%高い1キロ16.1円となった。新聞古紙は同1%高の1キロ19.2円、雑誌古紙は1%安の17.2円となった。需要地の中国では9月に浙江省杭州で開くG20首脳

会議の際、環境対策で製紙工場の停止が見込まれる。「中国の製紙工場は前倒しで生産するため、古紙の引き合いが強まる」との見方もある。(日経 5 月 31 日)

(2) 江西柯美紙業、低重量高強度段ボール紙 20 万トン設備を増設

江西柯美紙業有限公司は年産 20 万トンの低重量高強度段ボール紙の生産設備の増設工事に着手した。これは江西柯美紙業の一連の増設工事の二期工事にあたる。2017 年 3 月に完成する計画。(中国包装網 5 月 31 日)

(3) 湖北盛大紙業、年産 30 万トン高強度段ボール原紙工場増設

湖北省の盛大紙業は 4.5 億元を投じて、年産 30 万トンの高強度段ボール原紙生産工場の建設に着手した。盛大紙業は昨年 11 月に年産 20 万トンの段ボール原紙工場を稼働させている。(中国包装網 6 月 2 日)

(4) 電商時代の化粧品段ボール包装

電商時代に入り、化粧品包装に用いられる段ボール箱にも新たな要求が寄せられるようになってきた。化粧品包装用段ボールには下記 4 点が要求される。

- ①消費者を引き付ける意匠
- ②商品の輸送中の保護(耐圧、耐熱等)
- ③環境友好型包装、回収再利用
- ④上記 3 点を満足したうえで、低コストであること

従来、電商用の段ボール箱は AB フルートの段ボールが使用されていたが、電商用の段ボール箱には B フルートの段ボールが用いられるようになった。また、従来はテープによる封緘が行われていたが、現在はテープを使わず糊による封緘を行っている。この場合、開封が容易に出来るように剥がし口が工夫されている。

(中国包装網 6 月 1 日)

(5) 江蘇省質監局、定量包装商品検査の合格率は 70%以下

江蘇省質監局は 6 月 7 日、定量包装商品の抜き取り検査結果を発表した。その結果、茶葉や栄養食品の過剰包装は依然として多く、検査合格率は 70%以下であった。江蘇省内 54 カ所のショッピングセンター、スーパー、21 カ所のネット商店で 191 商品を抜き取り検査した結果は下記のようになった。

|       |           |
|-------|-----------|
| 茶葉    | 合格率 47.2% |
| 保健食品  | 合格率 61.9% |
| 化粧品   | 合格率 86.2% |
| 加工農産品 | 合格率 90.5% |

(中国包装網 6 月 9 日)



## (6) 宅配包装ゴミはなくなる

6月13日に杭州で開催された「2016世界知恵物流峰会」において、宅配便の包装ゴミを減少させることの困難さが報告された。

国家郵政局から発布された「中国快通領域緑色包装發展現状および趨勢報告」によれば、2014年に使用された快通関係包装資材は、送り状：140億枚、網袋：20億枚、プラスチック袋：55.84億枚、封筒：21億通となる。

宅配関係者は、小さい商品にも大きい箱を用いており、過剰包装はわかっているが、運送中の商品損耗の損害補償の手間とコストを考えれば過剰包装にせざるを得ないという。また、宅配包装材料のリサイクルが盛んに話題にされるが、一般家庭に配達された宅配物の包装材料を回収・リサイクルすることは現実的には不可能である。一般家庭では配達された商品の包装材は紙もプラスチックも一緒にすてられ、分別は不可能である。

6月12日の夜、国内外の著名物流企業32社は「緑色聯盟」を結成、2020年までに包装材料の50%、充填材料の100%を生物分解型の材料にすることを申し合わせた。アリババ集団は率先してこの課題に挑戦すると述べた。(中国包装網6月16日)

## 2. 政策・法規

### (1) 広東省、たばこ包装の警告表示を全面積の3割以上に

5月31日は世界禁煙デー、今年は「たばこ商品棚規制公約」が中国で発効してから10年になる。しかし、広東省では喫煙抑制の状況は芳しくない。広東省健康教育センターの最近の調査では、広東省の15歳以上の喫煙率は27.02%、そのうち男性が50.84%、女性が3.33%。毎日の平均喫煙本数は16本である。これは2015年の全国平均より高い。

広東省では2015年、喫煙抑制管理条例を修訂し、たばこ包装に記載する警告文書の面積を全体の3割以上とする修訂案を提案、現在意見募集を終え、法案化作業中である。現状60を超える国家および地域では警告表示を50%以上と定めている。

(中国包装網5月31日)

### (2) 「快通安全生産操作規範」6月1日より実施

国家郵政局が発布した「快通安全生産操作規範」が6月1日より実施される。小包の持ち込み時、「3つの100%」が厳格に実施される。3つの100%とは、小包は封をされる前に100%検査されたのち封をされる。また、荷物が実名で送られているか身分証明書と照合される。更に荷物は100%X線検査機を通さねばならない。

(中国包装網6月2日)

### 3. 新製品、新材料

#### (1) 雲南省の個人、3Dプリンターを自力で開発、販売へ

雲南省の朱興建氏（37歳）は自費百萬元を投じ、4年を掛けて3Dプリンターを自力で開発した。このたび特許を取得し、6月から一般に販売を開始するという。販売価格は2000元以下を予定している。（中国包装網5月31日）

### 4. 環境・安全・リサイクル

#### (1) 5月分紙巻たばこ包装箱返還率 94.37%

業界団体の統計によれば、紙巻たばこ商業企業が工業企業（生産者）に返還した包装箱の返還率は94.37%に達した。1～5月累計では92.54%で前年比5.42ポイント上昇した。工業企業の循環利用包装箱の1～5月累計は641.5万箱であった。

（中国包装網6月17日）

### 5. 物流

#### (1) 新疆とドイツを結ぶ国際貨物列車の運行始まる

中国の新疆ウイグル（ウルムチ）とドイツ（デュイスブルク）を結ぶ国際貨物列車の運行が5月28日始まり、一番列車が28日正午、ウルムチを出発した。

（新華網6月1日）

#### (2) EMS、今年は全面的に生鮮食品の電商を推進

「2016中国生鮮電商産業研究報告」によれば、2015年の中国電商生鮮市場規模は497.1億元で、昨年比80.8%の増加であった。2017年には1000億元を超えると予想されている。このような状況下、中国邮政速通物流股份有限公司市場部の責任者、陸宇氏は、中国邮政傘下の郵政EMSは生鮮食品の扱いを積極的に拡大すると述べた。

（中国物流購買網6月1日）

#### (3) 香港電視網絡、物流施設にロボット

香港の電子商取引大手、香港電視網絡（HKTV）は年内をめどに物流センターにロボットを導入する。商品の小分けや包装など作業の8～9割を自動化し、配送期間の短縮やコスト削減につなげる。拡大するインターネット通販の宅配需要などに対応する狙いだ。（日経6月4日）

#### (4) 黒竜江省最大の対ロシア鉄道駅へロシアの広軌鉄道が直接乗り入れ

最後のポイントの敷設が終わり、レールが接続し、黒竜江省最大の対ロシア鉄道駅、新綏芬河駅（旅客駅）とロシアの広軌鉄道がつながった。ロシアで運行されている広軌列車が直接、新綏芬河駅に入ることができるようになったことを意味する。綏



芬河市が明らかにした。(新華網 6 月 6 日)

#### (5) 「中欧列車」統一マークを使用

中国鉄道は 8 日、中国と欧州を結ぶ国際定期貨物列車「中欧列車」の統一マークの使用を正式に開始した。統一マークをつけた列車は同日、重慶、成都、鄭州、武漢、長沙、蘇州、東莞、義烏からそれぞれ発車した。今後、中国から欧州へ向かう



全ての「中欧列車」にこのマークが採用される。

統一マークは疾走する列車とはためく絹織物をフォルムとし、中国鉄道のマークと英語の略称、急行列車の英語を融合し、中国を象徴する赤と力強さを象徴する黒を主な色調に、落ち着いた、誠実で信頼でき、包摂的で、責任感と実力のある中国ブランドのイメージを示している。現在、中国の 16 都市がドイツのデュースブルクやハンブルク、スペインのマドリードなどの欧州 12 都市に向かうコンテナ列車を相次いで開通させており、路線図をみると 39 路線が運行し、中国国内の一日あたり平均営業距離数は 1300 キロメートルを超える。

昨年 11 月、習近平国家主席は中国を訪れたポーランドのアンジェイ・ドゥダ大統領と会談した際、「双方はポーランドをターミナルとして、新たな物流ラインの構築を計画し、中・東欧に広がる物流センターを建設することについてさらに話し合いを進めることができる」と述べた。現在、成都、武漢、蘇州などからポーランドへの直接列車が走っている。ポーランドを経由する中国発の列車もたくさんある。

(人民網 6 月 16 日)

#### (6) 「6・18」ネットバーゲンセールの大忙し

6 月 18 日はネットバーゲンセールの日。「6・18」を間近に控え、河北省固安県にある京東集団固安智能物流センターは大忙しとなり、スタッフ総出で今年の「京東 618 品質フェスティバル」の最終準備を行っている。京東集団固安智能物流センター 1 期パークは 2015 年 4 月に使用を開始し、京東集団の全国最大規模、最も先進的な設備を有する物流パークの一つとなった。今年の 6 月 18 日前後の一日あたりの取扱量は通常の 10 倍程になる見通し。(中国網 6 月 16 日)

## 6. 中国プラスワン

### (1) プライムポリマー、シンガポールで食品包装用フィルム材料本格生産

合成樹脂大手のプライムポリマーは 8 月にも、シンガポールで食品包装用フィル

ム材料の本格生産を始める。当初は昨夏に年産 30 万トンの工場が稼働する予定であったが、原料の供給元である英蘭ロイヤル・ダッチ・シェルの設備トラブルで遅れていた。シェルの設備が 7 月に復旧する見通しとなったため、本格稼働させて生産能力を 2 倍に引き上げる。主に食品包装用フィルムの原料となる高機能ポリエチレン「エボリュウ」を生産する。(日経 6 月 7 日)

(2) ウェザーニュース、ミャンマーで気象情報海運会社向け配信

気象情報サービスのウェザーニュースはミャンマー最大都市ヤンゴンに拠点を開設した。主力事業である海運会社向け気象情報配信サービスのコンテンツの加工・制作を手掛ける。(日経 6 月 9 日)

(3) フィリピンで佐川が個人向け宅配

佐川急便を傘下に持つ SG ホールディングスは 10 日、フィリピンの物流大手、LBC エクスプレス（マニラ）と業務提携したと発表した。同社の配送網を活用し、日本発の小口貨物などをフィリピンで宅配する事業を始める。これまでフィリピンでは企業間の配送や通関業務を提供していたが、個人向け宅配は手掛けていなかった。(日経 6 月 11 日)

(4) 物流中堅、東南ア開拓 C&F ロジ、ベトナムで倉庫 3 倍

中堅物流会社が成長の期待できる東南アジア市場の開拓に乗り出した。冷蔵倉庫の C&F ロジホールディングスは 1350 万ドル（約 14 億円）を投じ、ベトナム最大都市のホーチミン近郊のビンズオン省に冷蔵倉庫を新設する。稼働中の施設と合わせてベトナムでの収容能力は 3 倍になる。また、福山通運はマレーシアの物流企業、イー・エイチ・ウタラを買収した。(日経 6 月 16 日)

(5) 日通・郵船ロジ、船便の冷蔵コンテナ共用 生鮮低コストでアジアに

日本通運と郵船ロジスティクスは 17 日、日本産の生鮮食品を低コストでアジアに冷蔵輸送するサービスを始める。両者が共同で海運会社から冷蔵コンテナを借り、複数の荷主の貨物を混載して船便で輸出する。生鮮食品の輸出で利用が多い航空便に比べ、輸送コストが 8 割安くなるケースもある。アジアで人気が高まる日本産食品の輸出を後押しする。まず、名古屋と台湾北部の基隆を結ぶ定期航路で週一便運用する。冷蔵コンテナで温度を 5℃に保ち、最短 7 日で台湾に貨物を届ける。

(日経 6 月 17 日)

(6) ハンガリー・セルビア鉄道、中・東欧の経済発展をけん引

セルビアの首都・ベオグラードを流れるドナウ川に、新たな橋が建設された。2014



年末に完成したこの「ゼムーンボルカ橋」によって、約 70 年間にわたりベオグラードにドナウ川を跨ぐ橋が 1 本しかなかった歴史に終止符が打たれた。この橋は中国企業が欧州で初めて建設した大橋であり、中国の欧州インフラ市場における名刺ともなった。この橋の建設を請け負った中国路橋公司はこのほかにも、ハンガリー・セルビア鉄道プロジェクトを請け負っている。2018 年の開通後は、ハンガリーの首都ブダペストからベオグラードまでの列車の所要時間は現在の 8 時間から 3 時間以内に短縮される。セルビアのアレクサンダル・ブチッチ首相は、「ハンガリー・セルビア鉄道によってセルビアと欧州中心部との距離が大幅に縮まり、セルビアが地域交通・物流センターを建設するのにも役立つ」と指摘した。「ハンガリー・セルビア鉄道は中国と中・東欧諸国の戦略的協力の旗艦プロジェクトであり、『一带一路』（1 ベルト、1 ロード）のシンボリックプロジェクトでもある」。 （人民網 6 月 17 日）

#### (7) パナマ運河拡張、大型コンテナ船積載量 2 倍に

拡張工事をしていたパナマ運河の 26 日の開通に合わせて、日本郵船など国内海運大手が積載量を倍増した大型コンテナ船を順次就航する。貨物需要が低迷するアジア-欧州航路の大型コンテナ船を、比較的堅調なアジア-北米航路に振り向ける。コンテナ 1 個あたりの輸送コストは 2 割程度下がる見通しで、利用料金の低下につながる可能性がある。郵船と商船三井はアジア-東海岸間で新たに開設する共同運航便に 20 フィートコンテナ 1 万個を積める船舶を投入するほか、既存 2 航路のうち 1 航路を従来より 3 割多い 6700 個積載可能な船に入れ替える。川崎汽船も中国などの海運会社と共同運航する 4 航路に従来の 1.5~2 倍の 6500 個~8500 個積める船を就航させる。（日経 6 月 26 日）

以上